



こ ま き し



キミと一緒に、育っていきたい。  
**Komaki**

# 小 牧 市

た ぶん か きょう せい  
多文化共生

す い し ん ぶ ら ん  
推進プラン

だ い じ ぶ ら ん  
第2次プラン



だ い じ え す と ぼ ん に ほ ん ご  
ダイジェスト版 (日本語)

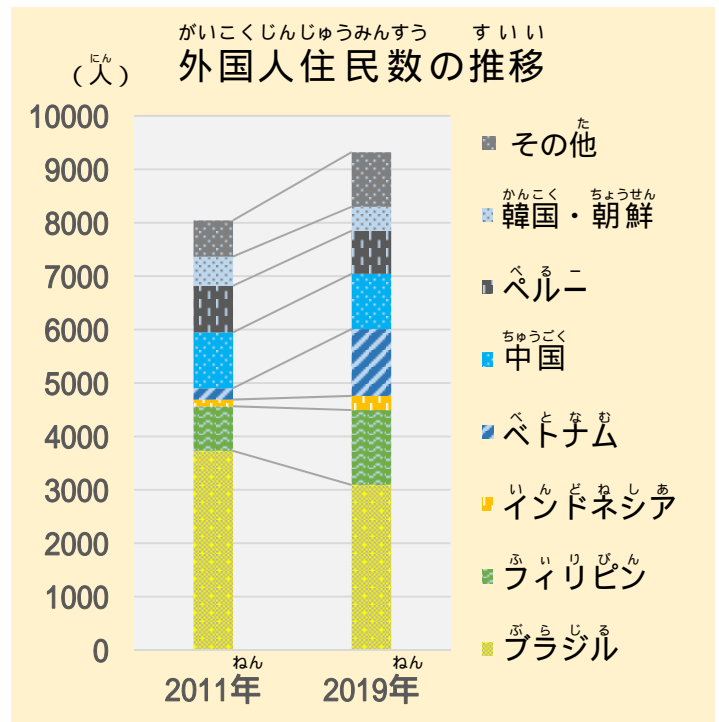


# こまきしたぶんかきょうせいすいしんぷらん 小牧市多文化共生推進プランとは？

こまき市民が多文化共生を推進していくために、基本的な考え方や役割、行動を示した計画です。市では、2011年3月に多文化共生推進プラン（第1次プラン）を策定しました。その後外国人人口の増加や外国人の国籍の多様化などの変化に伴い、今後も引き続き「多文化共生のまち」をめざしていくため、第1次プランの内容を改定し、「小牧市多文化共生推進プラン【第2次プラン】（以下、「プラン」と略して使います）」を策定しました。

## ○●プラン改定までの流れ●○

- 1 めざすことの達成状況の把握**  
 第1次プランのめざすことの達成状況を把握し、未達成の内容を確認しました。
- 2 アンケート調査**  
 外国人市民と日本人市民を対象としたアンケート調査（第2回こまき調査）を行い、現状の課題を把握しました。
- 3 各会議・ワークショップでの意見集約**  
 外国人市民と日本人市民が参加したワークショップと、市の会議において多文化共生の課題や必要な取り組みについて話し合いました。



第1次プラン策定時と比較して、小牧市の外国人住民数とその国籍別構成は大きく変化しています。

## ～2020年からの第2次プラン策定へ～

### プラン改定のポイント～第2次プランの主な変更点～

- ◆ポイント① 外国人市民への情報発信を強化します！
- ◆ポイント② 子どもに関わる取り組みを充実させます！
- ◆ポイント③ 役割や目標をわかりやすくします！

# プランに込めた基本的な考え方

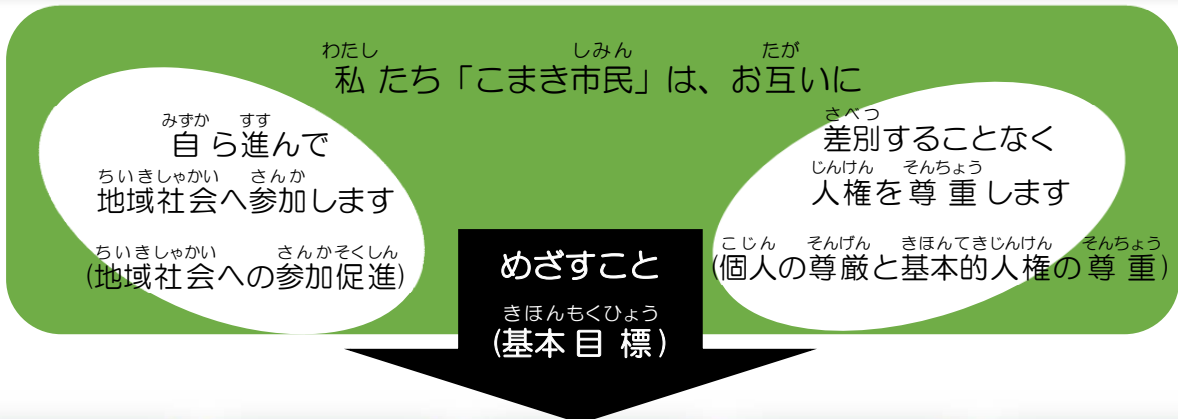
「多文化共生のまち」をめざすためには、毎日の生活の中で、国籍・民族・文化・言葉の「ちがいがいい」などを認め合い、お互いが思いやり支え合う心を育てていくことが大切です。こうした心を育てていくことが、こまき市民のだれもが自立し、地域社会へ参加する輪を広げ、みんなが笑顔で暮らせるまちをつくっていきます。

## プランの体系図

### 「できることを広げていこう」編（2020～2027年度）

#### スローガン

みんな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち



# ●○「めざすこと」とその内容○●

## めざすこと①

ひとり ぼうさいたいさく てん  
一人ひとりの防災対策が100点の  
まちにします



じしん くに にほん き がいこくじんしみん けいけん なに  
地震がない国から日本に来た外国人市民にとっては、経験がないため何をしたらよいか  
わかりません。ぼうさいたいさく ひと いのち たいせつ なか ひごろ  
防災対策は、人の命にかかわる大切なことであり、その中でも、日頃から  
ちいき じゅうみんどうし かおみ し じゅうよう かんが  
地域の住民同士が顔見知りであることが重要であると考えました。

### 挑戦すること（一部抜粋）

- (市民) ・ ちいき かんけいきかん し おこな ぼうさいくんれん がいこくじんしみん りかい つうやく きかく  
地域や関係機関、市が行う防災訓練を外国人市民も理解できるように通訳や企画・  
うんえい さぼーと  
運営などをサポートします。
- (国際交流協会 (KIA))  
ちいき かんけいきかん し ぼうさいくんれん ぼうさい かん こうざ さんか よ  
・ 地域や関係機関、市などの防災訓練や防災に関する講座への参加を呼びかけます。
- がいこくじんしみんたいしょう ぼうさいくんれん じっし がいこくじんしみん ぼうさい たい いしき  
・ 外国人市民対象の防災訓練を実施することにより、外国人市民の防災に対する意識  
の醸成を図ります。
- (小牧市) ・ さいがい としき ひなんばしょ し ぼうさいじょうほう がいこくごばんせいかつじょうほうし がいこくじんしみん  
災害の時の避難場所のお知らせなどの防災情報を外国語版生活情報誌や外国人市民  
む へーむ ペーじ  
向けホームページにのせます。

## めざすこと②

じちかいとう かつどう さんか ふ  
自治会等の活動への参加を増やします



じちかい そしき くに そだ がいこくじんしみん やくわり りかい  
自治会という組織がない国で育った外国人市民にとって、その役割を理解するには、  
じかん ひつよう  
時間が必要です。みんなが、こまき市民の一員として地域の活動に積極的に参加するこ  
とで、だれ たす えがお く かんが  
とで、誰もが助けあって笑顔で暮らせるまちになると考えました。

### 挑戦すること（一部抜粋）

- (市民) ・ こみゅにてい あつ とき じちかい くば じちかい く さんか  
コミュニティの集まりなどの時に「自治会のしおり」を配り、自治会（区）への参加  
を呼びかけます。
- (自治会（区）) ・ ちいききょうぎかい  
がいこくじんしみん がいこくじん こみゅにていとう きょうりよく おお がいこくじんしみん じちかいとう  
・ 外国人市民や外国人のコミュニティ等と協力し、多くの外国人市民が自治会等の  
ぎょうじ いべんと さんか ば つく  
行事やイベントに参加できる場を作ります。
- (小牧市) ・ がいこくじんしみん じちかい く たい りかい かにゅう そくしん じちかい  
外国人市民の自治会（区）に対する理解や加入を促進するため、「自治会のしおり」  
たげんごばん かかく くば  
（多言語版）を各区に配ります。

### めざすこと③

だれ 誰もが暮らしの情報を  
し 知ることができるようにします



生活に必要な情報の多くは日本語で書かれているため、外国人市民にとってそれを理解することは、日本人市民に比べて難しくなります。外国人市民にもわかりやすい情報を提供したり、外国人市民も生活に必要な情報等を知ろうとすることを通じて、日本人市民と外国人市民の交流が生まれるきっかけになると考えました。

### 挑戦すること（一部抜粋）

（市民）・外国人市民が、生活に必要な情報やルール、どのように情報を収集するかなどを学ぶ機会を作ります。

（国際交流協会（KIA））

・日本語を学びたい外国人市民の意見も聞きながら、日本語教室を拡充させます。

（企業）・通訳の雇用を始め、電話通訳や自動翻訳機などを必要に応じて活用し、従業員に多言語で対応します。

（小牧市）・市ホームページや各種案内文書・看板にルビをふるなど、やさしい日本語化や多言語化を進めます。

### めざすこと④

子どもたちの「多文化共生」を  
応援します



外国にルーツを持つ子どもが、自分のルーツに自信を持つことは、とても大切です。現在は子どもを母国から呼び寄せる親が多くなっています。「多文化共生のまちづくり」を進めるなか、子どもの頃から多文化共生を学ぶことが重要であると考えました。

### 挑戦すること（一部抜粋）

（市民）・地域や関係機関、市が行う子どもが母国や外国の文化・習慣を学び「多文化共生」を知ることのできる行事の翻訳や企画・運営をサポートし、子どもの参加を呼びかけます。

（自治会（区）・地域協議会）

・子どもが母語や外国の文化・習慣を学ぶことのできる行事を企画し、参加を呼びかけます。まつりやイベントで、外国人市民の子どもが参加できる場を作ります。

（国際交流協会（KIA））

・外国にルーツを持つ小学校入学直前の児童のプレスクールを充実していきます。

- 外国人児童と日本人児童が交流する中で、母国や外国の文化・習慣を学ぶことのできる場を提供します。
- (小牧市) 「小牧子育てサイト」を多言語で表示しPRします。
- NPO組織等と連携し、外国人市民の子どもに対する学習支援の取り組みを支援します。

## めざすこと⑤

国籍・民族・文化・言葉など

お互いの「ちがい」を学びます



日本人市民も外国人市民も「交流し、仲良く暮らしたい」と願いながらも、実現できないのは「知らない」ことが原因だと考えました。こまき市民がお互いを知ることで、国籍・民族・文化・言葉の「違い」も知ることができると考えました。

## 挑戦すること（一部抜粋）

- (市民) 日本語の不慣れな外国人市民とのコミュニケーションに、やさしい日本語や多言語を使います。
- (国際交流協会 (KIA))
  - 外国や母国、日本の文化・習慣・制度を学び、多文化共生の大切さを知ることのできる行事の充実を目指します。
- (大学) 外国や母国、日本の文化・習慣・制度を学び、多文化共生の大切さを知ることのできる行事に、中高生などの若い世代や外国人の学生も参加できるよう工夫します。
- (小牧市) プランやプラン（ダイジェスト版）を広く活用できるよう、窓口及び各公共施設に配布するとともにホームページからダウンロードできるようにします。

他にもたくさんの方に挑戦します。  
詳しくはプラン本編をご覧ください。

[こまきしがいこくじのかたへ](#) [検索](#)

# いち 位置づけ

このプランは「小牧市まちづくり推進計画」の下位計画として「多文化共生」を推進するための個別計画です。また「多文化共生」の推進は、SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる下記の目標を踏まえたうえで取り組みを進めていきます。



# けいかくきかん すす ぐあい はか 計画期間と進み具合の測りかた

このプランは、2020年度から2027年度までの8年間を計画期間とします。市では、市民ワークショップと市による調査によりプランの目標の達成状況（進捗率）を把握していきます。

## けいかくきかん 【計画期間】

2019年 令和元年	2020年 令和2年	2021年 令和3年	2022年 令和4年	2023年 令和5年	2024年 令和6年	2025年 令和7年	2026年 令和8年	2027年 令和9年	
さくてい 策定	→ 市民 ワークショップ	→					市民 アンケート 調査	改定 プランの 検討	

# ようご せつめい 用語の説明

ようご 用語	せつ 説	めい 明
たぶんかきょうせい 多文化共生	こくせきやみんぞくなどの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。	
こまきし 市民	小牧市内で暮らす人や働く人など、日常生活のなかで小牧市にかかわるすべての人としています。	
がいこくじんしみん 外国人市民	一般的に外国籍の人を表しますが、このプランでは外国にルーツをもつ日本国籍の人も含みます。 なお、外国人市民以外のこまき市民を「日本人市民」とします。	
SDGs（持続可能な開発目標）	2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。	



キミと一緒に、育っていきたい。  
**Komaki**

へんしゅう はっこう ねん がつ  
編集・発行 2020年7月

こまきし しみんせいかつぶ たぶんかきょうせいすいしんしつ  
小牧市 市民生活部 多文化共生推進室

〒485-8650 あいちけんこまきしほり うちさんちやうめ ばんち  
愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

でんわ だいひやう  
電話：0568-72-2101（代表）

<http://www.city.komaki.aichi.jp/>